

稲山会通信

第2号

1999年2月1日発行

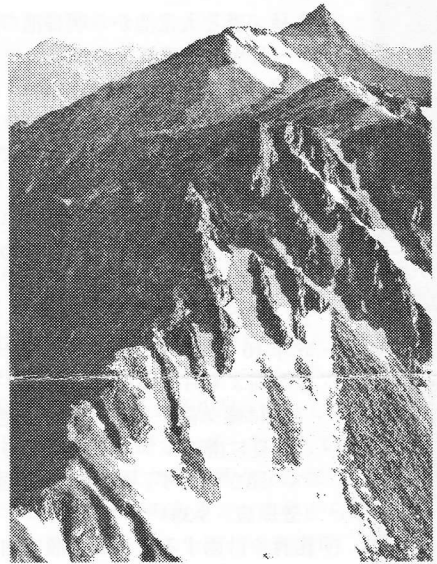
発行人：本田伸樹 発行所：稲門山の会事務局 TEL03-3367-3723 FAX03-3367-8150 ©稲門山の会1998

挨拶

OB会代表より

光陰矢の如しと申しますが、我々が幹事を引き継がさせて頂いて早1年になりました。新年会、スキー会、総会、山行会、有志忘年会等の行事を行って来ましたが、中でも数年振りに新会員名簿が出来た事を誠にうれしく思っています。これも偏に幹事、準幹事、その他の会員有志の皆様の多大なフォローを頂いた事、特に名達氏には大変な尽力を頂きました事、心中より御礼を申し上げます。今年は少し会費も多く入って来る様ですので新年会、忘年会等の費用のみならず幅広い運営に使用させて頂きたいと思っています。今年も様々な行事を予定しており、会員のみならず会員の家族、知人、友人も一緒に参加できるような計画、企画を行いたいと思っています。ユニークな発想の計画、面白い提案等々どんどん提出して頂き、会費の許す限り又皆様の支援の続く限り実行していきたいと思っています。

今年も会の発展の為皆様の絶大なるご協力をお願い致します。
(大国恒雄 S.33)



北穂高岳から見た槍ヶ岳

会員近況報告

1998年総会返信はがきより

・新年会のときから、さらに順調に回復し、連休はミャンマーに、5月末は中国江西省に行ってきました。6月後半には会議でアメリカ、カナダです。

(大島康行先生 名誉会員)

・現役部員の減少を相変わらず心配しておりますが、作増君を中心に海外の変わった山行(旅行?)をしており、それを見守っています。最近のニュースは、1号館屋根裏にある部室が大変きれいになったことです。私が顧問を引き受けたころは、足の踏場もないような独特の雰囲気をかもし出していましたが、それが整理されて、こざっぱりとした感じになりました。OBの方も訪ねてみてはいかがでしょうか。OB会の発展をお祈りいたします。

(池岡義孝先生 顧問)

・7ヶ月近くスキー場でバイト、4月の中頃東京に帰ってきました。(上田訓央 S.33)



総会にご出席の大島康行先生

会 員 近 況 報 告

- ・ 昨年は念願の塩見岳に登りました。今年は道志山塊の朝日岳、甲斐駒山系の日向山など、脚を馴らしています。最終目標は鹿島槍にしたいと思っています。(高橋啓二 S.33)
- ・ 5月下旬、和田先輩と南アルプス光岳に行ってきました。(小島閑 S.34)
- ・ 来年はじめには5冊目の本を上梓する予定です。(宮野準治 S.34)
- ・ 稲山会通信を発行していただき、楽しく読ませてもらいました。(西山賢嗣 S.35)
- ・ 丹沢・大倉(バカ)尾根に登ってきました。木道(階段)が整備され歩きやすくなっています。カエデが街路樹風に植えられたりして、丹沢は都会風のダンディーな山になっています。(松本桂一 S.36)
- ・ 高い山には行く機会がなくなりましたが、麓までは時々出かけています。今年はスイスの三山の麓まで行く予定です。(山本道明 S.36)
- ・ 5月のG.W.には久しぶりに後立の雪をふんできました。思い出深い大遠見にテントをはりG0稜より五竜岳をピストンしてきました。(水村靖 S.36)
- ・ 胃の手術をしましたが元気に職場復帰。14キロ減量でドライバーも飛距離が伸びました。(山下幸秀 S.36)
- ・ 昨秋、妻と大正池から明神池の周りを散策しました。(加納孝治 S.36)
- ・ うとうしい天気とそれ以上にうとうしい景気の中で、山に行きたくてうずうずしています。(高尾勝彦 S.36)
- ・ 今年あたりから、また本格的な山登りを再開しようかと、最近足慣らしに丹沢・大山のあたりを歩き出しました。ゴルフもいいですが、山の中の自然の方がいいですね。(内藤錦樹 S.37)
- ・ 昨秋は女房と一緒にスイス・グリンデルワルトの休日を楽しんできました。今Reinhold Messnerの「To the Top of the World」を読んでいます。(青木一隆 S.37)
- ・ 毎月1回福岡近郊の山に会社の仲間と登っています。(高森淳一 S.38)
- ・ 7月下旬、小林、井上、真下らとナンガパルバットをトレッキングしたあと、タクラマカン横断の予定。(宮内隆輔 S.38)
- ・ 昨年10月末に浜松の小林伸吉氏と、久しぶりに富士山に登ってきました。(岡崎快 S.39)
- ・ 2年前より月1回低山(ハイキング)の徘徊を開始。もっとも仕事その他に追われ年6回程度。この7月は蝶ヶ岳から上高地を予定している。(磯部映美 S.39)
- ・ この夏に南アルプスの黒河内岳→小太郎山→高嶺の2700m級を計画しています。奈良田から奈良田越への路が使えず、転付峠から廻らねばなりません。水も5リットル以上持参要と思っています。(笠原岯 S.39)
- ・ 山行を計画すると天候不順で山に行きそびれています。(田野辺親遠 S.39)
- ・ 3年前より登山を再開しました。本年は丹沢、皇海、上州武尊、北八ツなどを楽しく歩いています。夏には知床にも行く予定です。(鈴木明人 S.39)
- ・ 早稲田大学に戻って、4年目になります。最近研究室の学生と山登りをはじめていますが、体力が若い人について行かず苦勞しています。(濱田政則 S.41)
- ・ 月1回の割りあいで行くようにしています。(太郎良博 S.42)
- ・ 昨夏、南アの悪沢岳を目指しましたが、悪天候のため転付峠を越え、二軒小屋から引き返しました。いまだにテント持参にこだわっています。今夏、再挑戦します。(森逸岳 S.47)
- ・ 最近近場の韓国の山へいっています。今年の夏は穂高の予定です。(西山一夫 S.48)
- ・ 家族は妻、娘2人、息子1人の5人。山に登る元気はなく、最近オートキャンプがせいぜいです。(中原博 S.48)
- ・ 山へは、2・3年に一度思い出したように登っています。直近では一昨年、上高地～涸沢～北穂～奥穂～前穂～上高地と歩きました。余り変わりばえのしない日常です。(小竹正雄 S.50)
- ・ 下の子がようやく3才になるので背負子に入れて今年の夏は、家族でひさしぶりに唐沢(涸沢)に行こうと考えています。上の子が3才になったときは蝶ヶから徳本峠まで歩きました。(深沢徹 S.51)
- ・ 春の山菜ツアーは楽しめました。体力を調整し、また少し登ってみようかと思っています。筑波山くらいしか登っていないので・・・。(柴原至 S.52)
- ・ 時折室内壁やハイキングを楽しみながら、学生(山の会)時代を振り返っています。(本田伸樹 S.56)
- ・ 島津製作所を退職し、4月より調理師専門学校に通っています。(天野智彦 H.4)

OB 交流～独標へ～

平湯の中村館をでたときはさほどでもなかったが、ロープウェイに着くころは土砂降りになっていた。目の前の蒲田川は濁流が渦巻いている。誰もやめようと云わないので始発のゴンドラに乗り込む。終点でカッパに着替え傘をさして出発。途中で雨が上がり西穂の稜線が姿を現す。ナナカマドの紅葉が目染みる。汗をかくまもなく着いた十数年ぶりの西穂山荘はおしゃれなロッジに変身していた。

広島山口昌之から、奥さんに北アルプスを見せたいので西穂に行かないかという誘いを受けた。病み上がりの私にとっても渡りに舟だった。納見先輩が同行してくれることになり早川に宿泊の予約をお願いした。話を聞いて横浜の山下夫妻、福井の三谷、白馬の小久保も日程の調整がつけば参加したいということだったが、残念ながら実現しなかった。

山荘で早めの昼食をとり、岩場の雰囲気が味わえる独標を時間をかけて往復する。岳沢ヒュッテから上高地まで俯瞰できる景色は圧巻で、西穂まで行かなくても十分満足した。

翌朝上高地へ下る。河童橋付近から豪雨になる。奈川渡ダムの先で崖崩れがあり、バスは不通だという。運よくタクシーがつかまり、木曽の藁原経由で浅間温泉まで3時間余のドライブとなる。温泉とビールで盛り上がり、松本で名古屋に出る山口夫妻と別れる。

卒業以来40年近く経過するなかで、多くの仲間たちとこのような交流が続けられるのは嬉しいかぎりである。山の会で同じ飯盒の飯を食ってきた功德であろうか。
(宮沢壮介 S.36)

初夢はヒマラヤ！？

山に登らなくなって20年。家族を連れて海外勤務10数年。やっと日本に帰ってきたら、ゴルフはヘボ、スキーは下手で、たまたま誘われて尾根歩きに月一回程度登るようになり、去年は八ツ岳、谷川、丹沢などに適当に登った。だが、失った体力は如何ともし難く、50数歳でもまだまだ若いと、自分に叱咤激励し、週末にはスポーツ・ジムに通うていたらくで、何とも締まらない次第で寂しい限りです。

そんな時でも、かつての山々から、尾根からかいま見るナイフリッジ、スラブ、ルンゼがやけに懐かしくまだ易しいルートなら登れるかなと、昔の埃だらけの岩場ルート集を引っ張りだしたりして、机上で楽しんだり、NHKの50～60歳台だけでヒマラヤ8000m峰登頂のテレビを羨ましがったりしています。

そんな今年の元旦、上田先輩、納見先輩から力強いお誘いを戴き、はたまた森田君から念願のヒマラヤの話と、今年は良いスタートが出来そうです。OBの皆様方でまだまだ元気のある方は今年から始めませんか。これが、50数歳の初夢で終わらせない様にしたいものです。
(井村英明 S.40)

杉山貴唯ご夫妻からお礼状を頂きました

現在、昭和34年卒の杉山貴唯さんが、筋萎縮症という難病と闘っております。

そこで、昨年のOBの集まりに際して、同期の市村栄一さんより、山の会OB会員の諸氏にカンパの呼びかけがあり、励ましの言葉とともに杉山ご夫妻にお贈りしました。

これについて、ご夫妻よりご丁寧なお礼状を頂いておりますので後掲いたします。併せて一日も早いご回復をお祈り申し上げます。

『平成10年12月13日

ありがとう。

胸がいっぱい。

主人からの御礼の言葉です。皆様のあたたかい心のこもった色紙とその上、カンパまでいただき誠にありがとうございます。

車椅子でどこへでも行けるよう、今リハビリ中です。

寒さ厳しい折柄皆様どうぞご自愛下さいますように。

杉山貴唯・登代』

ボジョレ・ヌーボの会

何時も元気澁刺の市村大先輩の発案・企画・段取り及び料理人で暮れも近い11月26日OB,OGが大挙して集合し、恒例の（高齢の）ボジョレ・ヌーボを楽しく飲もうの集いを新橋にて開催し、大いに盛り上がりました。

集まったOBは格調の高い、品格ある紳士となり、OGはお美しい淑女ばかりでした。今年の宴には是非ご婦人同伴でご参加下さい。参加の方は以下の皆様でした（敬称略・順不同）。

市村夫妻、上田夫妻、大国夫妻、難波、納見、飯野、宮野、加納、
松本、宮内、鈴木健、早川、三木、井村、新井 他 総勢23名

・会計報告（1997年8月～1998年12月）

摘要	収入	支出	残高
(収入)			
繰越金（預金・現金の合計）	242,414		
会費納入	499,685		
銀行利息	208		
カンパ等	169,800		
総会オークション売上	29,100		
(支出)			
慶弔費		99,350	
新年会関係費（案内状送付等）		62,513	
総会関係費（案内状送付等）		52,439	
稲山会通信 No. 1 発行費		5,600	
名簿作成費・発送費		144,800	
振込手数料		1,784	
合計			574,721

・会費納入のお願い

年会費 6000 円の納入を宜しくお願いいたします。

今年から郵便局も利用できるようになりました。

銀行 第一勧業銀行 沼袋支店 普通預金 1218236 稲門山の会 幹事 関根聰一郎

郵便局 記号10160 番号51307151

名前 稲門山の会 代表者 関根聰一郎

住所 中野区沼袋2丁目5番12号

（注意）代表者名を書かないと取り扱えないとのことです。

編集後記

『稲山会通信』第2号を発行する運びとなりました。熟年の登山ブーム再来とはいえ、諸先輩の衰えを知らない山への情熱と活躍振りには脱帽させられます。そのトーンは、在学年時の学生登山の盛衰と軌を一にしてくれるのは私だけでしょうか？ 尚、今後本通信ではより一層充実した内容のニュースを掲載して参りたいと思います。つきまして、登山紀行や写真等を振るって編集事務局のオーク編集工房までお寄せいただけたら幸いです。また、本通信への忌憚のないご意見も併せてお聞かせ下さい。最後に本号にご寄稿いただいたり、編集の労をとっていただいた諸氏に篤く御礼申し上げます。

（本田）